

ノボケア ニュース

No.6

NOVOCARENEWS

ノボケア相談室

(フリーダイヤル)

0120-180363



NovoCare®

ノボ ノルディスク ファーマ製品について、わからないことや困ったことがある場合は、上記にお問い合わせください。

受付：月曜日から金曜日まで（祝祭日、会社休日を除く）
午前10時～午後5時

インスリンへの血液混入について

インスリンを注射した際、血液がカートリッジ内に逆流して変色（赤色、茶褐色、ピンク色など）することがあります。透明なインスリンであるR注やノボラピッド注の場合は、変色するだけでなく、インスリンが血液成分の存在下で沈殿物を生じることがあります。血液が混入したインスリンでも血糖降下作用が大きく変化することはありませんが、変色していることに気づいた時は新しいカートリッジを使用するようにして下さい。

注射時には、インスリンカートリッジと皮下組織とが注射針でつながっている状態ですので、血液混入はどの注入器でも起こりうる現象であり、100%防止することはできません。しかし、針を抜くまで注入ボタンを押したままにしておくこと、注射針をしっかり装着することにより、その頻度を減少させることができます。

空打ちの時の液の勢いは注入精度と関係ありません

注射前には毎回空打ちをして頂きますが、注入器が替わった時などに「液の出方が違う」と不安を訴える患者さんがいらっしゃいます。

空打ちの時の液の出方は、カートリッジ内の空気の量、カートリッジの大きさの違い（1.5mLと3mL）、注射針の太さの違い（30Gと31G）、インスリンを押し出すピストン棒の材質や形状、注入ボタンの押し方などにより異なります。

空打ちでは液が出ることが確認できればよく、空打ちの液の勢いが異なっても注入精度とは関連しませんので、安心してご使用ください。

